

令和2年度 倫理審査対象研究課題の概要

研究課題	新型コロナウイルス感染症疑い検体における他の呼吸器系ウイルスの検出状況について（新規）	
実施期間	倫理審査終了後から令和5年3月まで	
研究内容	新型コロナウイルス感染症疑い検体について、網羅的に呼吸器感染症ウイルスの検索を実施し、原因を調査する。	
期待される効果	<p>○呼吸器感染症の原因となる呼吸器ウイルスの動向や疫学が明らかになることにより、疾病への適切な診断や治療対策が確実に実施でき、県民の健康保持につながる。</p> <p>○当センターでの新たなウイルス検出・検査手技の確立、呼吸器ウイルスサーベイランス機能の充実につながる。</p>	
倫理的配慮事項	<p>○研究による追加の侵襲および介入は伴わない。</p> <p>○検査対象の検体については、個人を特定できない符号または番号を付与し、検体採取日、年齢、性別、臨床所見以外の個人情報情報を削除することにより匿名化（特定の個人を識別することができないものに限る）する。</p> <p>○呼吸器ウイルスの検出および解析にのみ使用し、研究対象者の遺伝情報の解析は行わない。</p> <p>○研究成果を発表する際は、個人が特定できる情報は含まれない。</p>	
審査結果	承認	
主な意見等	意見	対応
	特になし	特になし

令和2年度 倫理審査対象研究課題の概要

研究課題	A群ロタウイルスの流行状況の解明 (変更: 期間の延長)	
実施期間	平成31年4月から令和4年3月まで	
研究内容	福井県内で検出されたA群ロタウイルスについて遺伝子型別を行い、流行状況を調査する。	
期待される効果	<p>○これまで不明であった、ロタウイルスの遺伝子型別流行状況が明らかとなる。</p> <p>○ワクチン接種率の向上、重症化事例の減少、ワクチンの評価につながる。</p> <p>○当センターでの検査手技の確立、サーベイランス機能の充実につながる。</p>	
倫理的配慮事項	<p>○医療機関からの試料提供段階で検体採取日、年齢、性別、臨床所見以外の個人情報(氏名、生年月日、住所等)は削除され、個人を特定できない符号または番号のみで取り扱うため、当センターで個人を特定することはできない。</p> <p>○臨床検体はロタウイルスの検出および解析にのみ使用し、研究対象者の遺伝情報の解析は行わない。</p> <p>○研究成果を発表する際は、個人が特定できる情報は含まれない。</p>	
審査結果	承認	
主な意見等	意見	対応
	特になし	特になし

※変更箇所は赤字で示した。